

平成18年度 基本健康診査の結果

40代の男性の健康にイエローカード

3 年代別結果判定

平成18年度基本健康診査では『メタボリックシンドローム』（内臓脂肪症候群）と『介護予防』に焦点をあてた健診となり、結果は次のとおりでした。

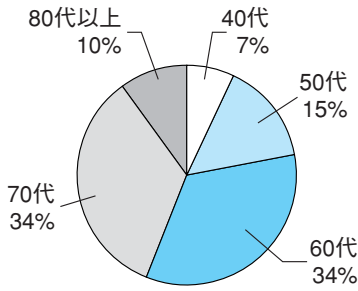
40代の男性に肥満が多く、高脂血症など注意信号が多いことがわかりました。

1 受診者数

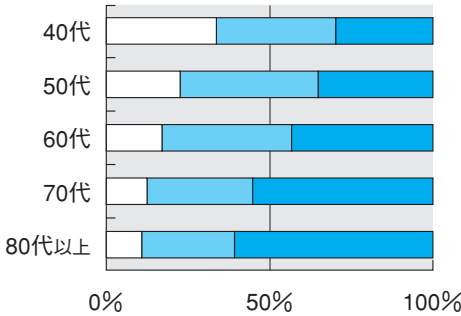
受診者数は3,080人（男性978人、女性2,102人）でした。

2 受診者の年齢構成

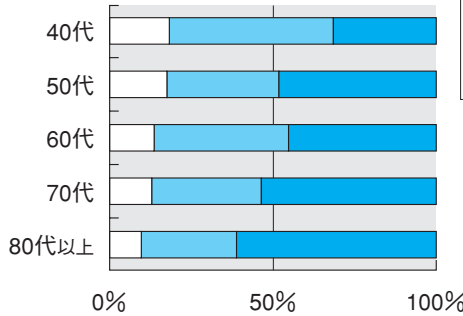
受診者の年齢構成



年代別結果判定（女性）



年代別結果判定（男性）



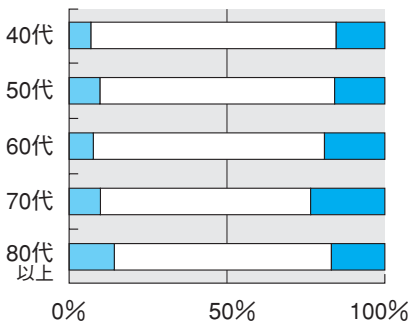
男女別の結果判定割合をみると、男性全体では『異常なし』が13.4%、『要指導』が36.2%、『要医療』が50.4%でした。女性全体では『異常なし』が17.8%、『要指導』が36.1%、『要医療』が46.1%で受診者のほぼ半数に医療が必要でした。

40歳代男性の82%に何らかの異常が指摘されています。年齢が高くなるにつれ要医療の割合が高くなっています。

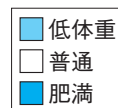
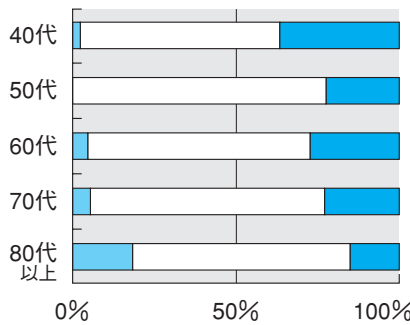
4 メタボリックシンドロームの該当者は

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）は肥満、なかでもお腹のまわりに脂肪がつく『内臓脂肪型肥満』の人が高脂血症や高血圧、糖尿病のいずれか2つ以上を併せ持つ状態をいい、放置すると動脈硬化を引き起こし、心臓病や脳卒中といった命にかかわる病気につながります。町では今年度から64歳までの受診者に腹囲測定を実施し、男性85cm以上、女性90cm以上で高血圧・糖尿病・高脂血症のうち2項目以上該当している方には医師からの指導や保健事業の案内をさせていただきます。

BMIの年代別状況（女性）



BMIの年代別状況（男性）

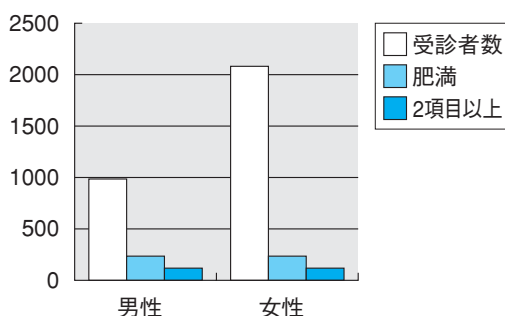


BMI(肥満係数)

体重kg / (身長m)² = 22基準
 18.5未満…やせ
 18.5～25未満…普通
 25以上…肥満

① 肥満の状況
 40代男性の36%が肥満と判定されています。女性では年代が高くなるにつれ肥満の割合が高くなっています。

メタボリック該当者数



② 肥満(BMI25以上)で、高血圧・糖尿病・高脂血症の2項目以上を持つ人
 受診者のうち636人(21%)、5人に1人が肥満であり、そのうちの270人(42.5%)が高血圧・高血圧・高脂血症の2つ以上を重ねて持っています。特に女性よりも男性の方が肥満やメタボリック該当者の割合が高くなっています。

◎ 問い合わせ 子育て介護課
 ☎ 内線308
 今年も基本健康診査が7月から始まります。『異常なし』や『症状がないから』だけで判断せず、受けた後の結果を生活に活かすことが大切です。結果を年毎に比較し、生活習慣と合わせて改善点をみつけましょう。